

保存版

逃げ地図

(推奨案)

沼津市

西浦地区II

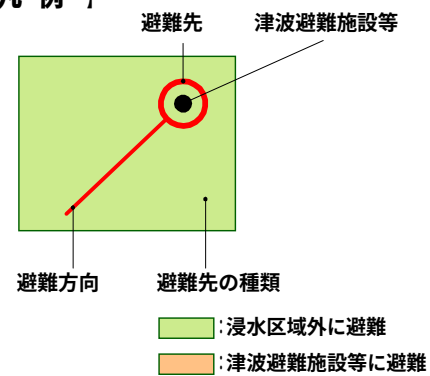
久料地区

足保地区

古宇地区

立保地区

【凡例】



【津波避難施設等】

- 津波避難施設等(津波避難ビル、津波避難タワー等)
- 津波避難路

【陸域での津波の浸水深が30cmとなる時間 ※】

- 8分 (西浦地区IIの陸地に最も早く津波が到達する時間)
- 9分
- 10分
- 15分
- 最大浸水ライン

※ 静岡県第4次地震被害想定を基に、沼津市津波ハザードマップに記載されている津波到達時間よりも精度を上げて作成した。



0 50 100 200 300 400 500m

リヴァージュ西伊豆

津波避難タワー
・立保

社会福祉法人 宏寿会

◆ 津波避難の『心得』

①できるだけ「早く逃げる」

- 避難開始時間は、地震発生後3分を目指す。
- 避難速度は、1m／秒を基本とする。
（津波の進入が極めて早い戸田地区に限り、1.5m/秒とする。）

②“適切な”避難方向・津波避難施設等に「上手に避難する」

- あらかじめ、避難する方向・場所を決め、逃げ方を把握しておく。

③予定した避難行動ができるように「手間取らない。時間をロスしないために準備する」

- 外に出る：家具の固定、装備品の用意、家屋の耐震化など
- たどり着く：ブロック塀除去、草刈りなど

◆『逃げ地図（推奨）』の使い方

①ご自宅の「避難先の種類」は何ですか。

①津波浸水区域外

②身近な津波避難施設等

②避難先までの「経路」を確認しましょう。

③あなたの設定した「避難経路」を、実際に歩いてみましょう。 ⇒所要時間____分

* 津波の浸水時間を確認しながら歩いてみましょう。

◆『逃げ地図（推奨）』の作成方法

①「地元意向」を基に、シミュレーション

- 避難行動ワークショップ（H27～H29）における意向を基に検討しました。
- 技術基準（下表参照）に照らし、技術的検証を行いました。
- 住民説明会（H30年度）において、確認と合意形成を行いました。

②要支援者を含む「より多くの人の逃げやすさ」に対応

- 自治会単位で避難方向を検討しています。
- 要支援者の為に近くの津波避難ビル等を空けるため、「健常者は可能な範囲でなるべく遠くに避難」することを想定しました。

③避難先を決めきらない「推奨案」として提示

- 逃げ地図（推奨）は、津波避難計画を図化し、「こちら側に逃げる」ほうが危険が少ない、「こうやって逃げる」を実行すれば助かりやすいを、分かりやすく伝えるものとして作成しました。
- 「津波避難計画（逃げ地図（推奨）」を基に、避難訓練等で確認し、個人・自治会で「自分達の避難計画」を作成してください。

◇『逃げ地図（推奨）』の作成基準◇

	共通の基準（戸田を除く）	戸田地区の基準
①避難開始時間	○地震発生後5分	○地震発生後3分
②避難速度	○1m／秒	○1.5m／秒
③津波避難施設	○階数 ○避難路は基準水位以上の陸 ○構造 ○RC/SRS（S56以降の新耐震基準に準拠、同等の耐震補強済み） （備考：津波避難タワーはS造） ○容量 ○原則1人／㎡	（同左） （同左）
④避難方向	○原則として津波から遠ざかる方向、最寄りの浸水区域外もしくは津波避難施設等に向かう方向（健常者は、可能な範囲でなるべく遠くに避難）	（同左）
⑤避難距離	○原則500m以下（津波の進入方向及び横方向には200m以下）	（同左）
備考	※避難開始時間は目標値として「地震発生後3分を目指す」としているが、「津波避難計画（逃げ地図（推奨）」の作成に際しては、地震の揺れが収まる時間を考慮し5分とする。 ※戸田地区については「海岸への津波到達時間が、最短で4分で、避難可能時間が極めて限定される」ことから、上記の基準での対応が必要。	

■ 津波避難訓練対象区域の自治会

連合自治会	「津波避難訓練対象区域」の自治会
西浦地区	立保、古宇、足保、久料

■ 津波避難ビル等一覧

施設名称	建物階数	外階段	避難利用箇所	収容面積
リヴァージュ西伊豆	3	無	3階以上の共有スペース	87㎡
津波避難タワー・立保	－	－	－	40㎡
社会福祉法人宏寿会	3	有	3階床面	158㎡

平成31年3月末現在

■ 津波避難路一覧

避難路名称	上部標高	収容人数
西30	13m	5名程度
西31	16m	相当数避難可能
西32	20m	相当数避難可能
西33	14m	相当数避難可能
西34	16m	相当数避難可能
西35	23m	相当数避難可能
西36	30m	相当数避難可能
西37	28m	相当数避難可能
西38	18m	相当数避難可能
西39	35m	相当数避難可能
西40	24m	相当数避難可能
西41	12m	100名程度 （西42、43と合わせて）
西42	12m	100名程度 （西41、43と合わせて）
西43	13m	100名程度 （西41、42と合わせて）
西44	12m	100名程度
西45	14m	5名程度
西46	12m	5名程度
西47-1	16m	相当数避難可能
西47-2	23m	相当数避難可能
西48	25m	相当数避難可能
西49	17m	30名程度

避難路名称	上部標高	収容人数
西50	16m	相当数避難可能
西51	20m	相当数避難可能
西52	32m	相当数避難可能
西53	26m	30～40名程度
西54	31m	相当数避難可能
西55	14m	20名程度
西56	35m	相当数避難可能
西57	11m	10名程度
西58	14m	50～60名程度

平成31年3月末現在

※ 避難するための共有スペースが少ないビルや無人となるため避難できる時間帯が限られるビルがあります。
また、外階段が「有」となっているビルでも扉がついている場合もありますので、訓練のときに確認しましょう。

保存版 沼津市危機管理課 055-934-4803

平成31年3月末発行